

第2回町民ワークショップ開催！

令和3年1月16日に第2回町民ワークショップを開催しました。当日は5名の方にご参加頂き、前回同様活発な意見が飛び交いました。ご参加頂いた皆様ありがとうございました。

第1回では新庁舎配置、駐車場、歩行者空間の整備についてご意見を頂きましたが、今回の第2回ワークショップは「将来に渡って使い易い庁舎について考えよう」をテーマに、主に建物内部の平面計画を中心に議論しました。ワークショップは前回同様、プロポーザルの提案概要説明と他自治体の庁舎事例紹介、「質問シート」、「グループワーク」の順で行われました。

第1回に引き続きご参加頂いた方の割合が多かったこともあり、ご自身の体験を元に新庁舎の理想をお話し頂くなど、前回以上に具体的なご意見を頂くことができたと考えております。

◎ 野辺地町 新庁舎がわら版

第 2 号

令和3年2月

いただいたご意見の一覧（※抜粋して掲載しております）

長く使い易い庁舎とするために必要なスペースについてのご意見

- ・情報を伝える知る場、行きたくなる場
- ・人が集まる場＝人に会える場
- ・ゆとりを感じる憩いの場

ロビー空間についてのご意見

- ・キッズスペースは大きく取り、授乳室の近くがよい。
- ・1階の町民ホールは1つの大部屋になるので活用しやすいと思う。
- ・3階の町民ラウンジは活用と管理を工夫してほしい。
- ・見通しがよく、わかりやすい窓口にしてほしい。

その他のご意見

- ・議会の様子を1階やWeb上で放映して欲しい。
- ・議会関係の部屋が大き過ぎるのではないか。

今回頂いたご意見は基本設計の中で検討し、改めてかわら版でご報告させて頂きたいと思えます（頂いたご意見の一部を左の囲みに記載いたしますのでご覧ください）。今後も新庁舎が長く愛される庁舎となるよう取り組みまいりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。



【写真】ワークショップの様子

新庁舎建設事業の『最新情報』は↓こちらへ↓

◎ 野辺地町ホームページ

→ <http://www.town.noheji.aomori.jp/>

f 野辺地町公式フェイスブック

→ <https://www.facebook.com/nohejitown/>

ホームページ



Facebook



新庁舎に関するお問い合わせは、『野辺地町 財政課』まで

電話：0175-64-2111 FAX：0175-64-4954 メール：chousha@town.noheji.lg.jp

第1回、第2回の 内容報告

下表の上段は、ワークショップへご参加いただいた皆様にご記入頂いた「質問シート」の内容です。この質問シートでは、一見すると新庁舎建設の範囲を超えるような大きなテーマに対する問いが投げかけられ、ご参加頂いた皆様は少し戸惑ったかもしれませんが、この「質問シート」では、新庁舎建設を契機に「本町付近だけでなく町全域」あるいは「新庁舎建設後の町の姿」を想像することを通して、継続的なまちづくりの活動につなげていくことが意図されています。皆様も一度、将来の町の姿に思いを巡らせて頂ければと思います。

また下段では、グループワークの中で頂いたご意見を掲載しています。ここに掲載されている他にも多くの貴重なご意見を頂きました。今後継続して検討し、より良い新庁舎となるよう取り組んで参ります。

「質問シート」

第1回		第2回	
質問	A1: 町の中で、野辺地らしいと感じる場所はどこですか？	質問	A1: 過去50年程(幼少期から)の間で、野辺地町の風景や、町の暮らしで大きく変わったと感じることは何ですか？
ご意見	・漁港周辺のまちなみ ・柴崎牧場から見るむつ湾の風景 ・本町地区(郵便局、銀行、行在所)の中心となる庁舎 ・庁舎の正面玄関は商店街の方に作ってほしい ・行在所を整備して町民に開放してほしい ・行在所、庭園を生かすように外構を和式的に作っては	ご意見	・商店の町並みがなくなった ・若者の働く場がない ・町の行事がにぎやかだった ・外国人が多くなった ・楽しい町でした ・当町は山あり海ありで自然に恵まれていると思うが、あまりそれらが利用されていないと思う ・高齢者が多く、年々人口が少なくなっている
質問	A2: そう思う理由はなんですか？	質問	A2: 今後50年の間で、野辺地町や町の暮らしはどう変わると思いますか？また、どう変わって欲しいと思いますか？
ご意見	・町の中に野辺地らしいと感じる場所がなかなか思い浮かばないから ・今後、そのような場所になればうれしい ・歴史のある地区で中心部である。イベント開催される場所である。	ご意見	・町で買い物をする所がなくなる ・高齢者が多くなるので思いやりのある町づくり ・子育てには適しているの、住みよい町づくり ・自然の中での体力づくりができる町 ・新しい風を町に取り入れて明るい町に変わってほしい ・収穫した物を速やかに発信・発送できるように
質問	A3: 新庁舎にどのような場所があれば、野辺地らしい庁舎になると思いますか？	質問	A3: そのような変化の中で、新庁舎にどのようなスペースや機能、役割があれば、将来に渡って使い易い建物になると思いますか？
ご意見	・野辺地の庁舎は県内でも一、二を争うほど長く使われている。木造が野辺地らしいイメージがある ・子供達やお年寄りが気軽に立ち寄れる場所になってほしい ・生徒が部活などで遅くなった時など、安全で暖がとれる所にしてほしい ・駐車場でいろいろなイベント ・当町の名産の展示スペースを設けて頂きたい ・イベントが簡単に出来る場所にしてほしい	ご意見	・情報を伝える知る場、行きたくなる場 ・人が集まる場→人に会える場 ・役場の機能が活用される場 ・ゆとりを感じる憩いの場 ・農家の野菜を売るようなスペース ・色々な情報が町民に分かるように情報ディスプレイを設ける

グループワーク

行在所	・行在所、庭園を開放、整備してほしい	ロビー	・ホールは1つの大部屋になるので活用しやすいと思う
駐車場活用	・色々使えるようにしてほしい	議場	・議会の様子を1階やWeb上で放映してほしい
まちの顔にぎわい	・町民が喜ぶ活用	執務室	・IT化に対応できるように
	・国道側にも建物としての顔がほしい	内装	・木質化してほしい
	・交流の場所が欲しい	防災	・無線鉄塔を新庁舎屋上に移動してほしい

その他多くのご意見を頂きました

新庁舎出前講座のご案内

新庁舎建設に関するご意見を広くお伺いするため、下記の通り出前講座を実施いたします。

- 募集期間 令和3年2月1日(月)～令和3年2月26日(金)
- 対象 町内各自治会、町内各種団体ほか
- 募集要件 出前講座希望者が5人以上集まった場合に、自治会長もしくは各種団体長を通してお申込み下さい。
- 申込方法 表面連絡先に、電話又はメールにてご連絡ください。
日程調整等は個別に行います。